

10 月 9 日の弊社設定ファンドの基準価額の下落について

平素は弊社のファンドに格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社で設定・運用しております公募投資信託のうち、下記のファンドについて10月9日の基準価額が5%を越す下落となりましたので、お知らせいたします。

【基準価額が5%超下落した弊社ファンド】

10月9日に基準価額の下落率が5%を超えた公募ファンドは以下の通りです。

ファンド名	基準価額 (10/8)	基準価額 (10/9)	変化率
ING・プレステージ&ラグジュアリー・ファンド	5,181 円	4,887 円	-5.67%

【主要株価指数の動向】

株価指数(※)	10 月 7 日終値	10 月 8 日終値	変化率
ダウ工業株 30 種平均(米国)	9,447.11	9,258.10	-2.00%
FT100 指数(英国)	4,605.22	4,366.69	-5.18%
DAX 指数(ドイツ)	5,326.63	5,013.62	-5.88%
CAC40 指数(フランス)	3,732.22	3,496.89	-6.31%
TOPIX(東証株価指数)	899.01	905.11	+0.68%

※海外の株価指数は 10 月 8 日と 10 月 9 日の基準価額計算に対応する現地日付の終値です。

(出所)ブルームバーグ

【為替レートの動向】

為替レート	10 月 8 日の評価値	10 月 9 日の評価値	変化率
ドル/円	101.61	99.98	-1.60%
ユーロ/円	137.29	138.02	+0.66%
英ポンド/円	177.29	177.61	+0.18%
豪ドル/円	73.22	72.01	-3.06%

(出所)ブルームバーグ

※為替レートは投資信託協会公表の評価レートを表示しています。

【基準価額下落の要因】

上記ファンドの基準価額が下落した主な要因は、海外の株式市場の下落と米ドルなどに対する円高となっております。

【海外株式】

10月8日の欧州株式市場は乱高下の展開となりました。前日の米国株式市場の大幅下落を受けて日本を含むアジアの株式市場が急落したことから大幅安で始まりましたが、各国中央銀行による協調利下げが伝わると、一時は前日比プラスとなりました。しかし、その効果が限定的であるとの見方が広がると、再び金融システムに対する不安から大幅安となりました。

主要指数は、英国のFT100指数は5.18%、ドイツのDAX指数は5.88%、フランスのCAC40指数は6.31%の下落となりました。

米国の株式市場も協調利下げを受けて一旦は上昇しましたが、実体経済の悪化や金融機関の資金繰りに対する不透明感が強く、素材株などの上昇するセクターはあったものの、金融、通信、公益セクターを中心に下落しました。

主要指数ではダウ工業株30種平均が2.00%の下落となったほか、S&P500種株価指数は1.13%、ナスダック総合指数は0.83%の下落となりました。

【日本株式】

日本の株式市場(9日)は、前日の急落のあとを受けて比較的しっかりとした展開となりました。急速な下落に対する警戒感と、為替市場がやや落ち着きを取り戻したことなどが背景にあります。日経平均は前日比45円の下落となりましたが、TOPIXは前日比プラスとなりました。

【外国為替市場】

外国為替市場は、協調利下げを織り込む動きとなりましたが、最近の急激な円高に対する一部の警戒感もあり、米ドル安・円高、ユーロ高・円安など、主要通貨に対してまちまちの展開となりました。

欧州通貨は、欧州の金融システムに対する不透明感が高まったことから前日に対ドル、対円で大幅に売られていたため、9日は比較的しっかりとした値動きとなりました。

一方、米ドルは金融システムに対する不安が根強く、またオーストラリア・ドルや新興国通貨は依然として投資家のリスク許容度が低下して売られる展開が続きました。

以上

以下の記載は、金融商品取引法第37条により表示が義務付けられている事項です。お客様が実際にご購入される個々のファンドに適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。

投資信託に関する留意事項

●投資信託にかかるリスクについて

投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって、投資家の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、これを割込むことがあります。

投資信託はファンド毎に投資対象資産の種類や投資対象国、投資制限等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。お申込みの際には、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。

●投資信託にかかる費用について

(投資信託のご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。)

■お申込時に直接ご負担いただく費用

お申込手数料 お買付金額に対して最大 3.15%(税抜き 3.0%)

■ご換金時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保額 ご換金時の基準価額に対して最大 0.3%

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬 純資産総額に対して最大年率 1.89%(税抜き 1.8%)

■その他費用として、上記以外に保有期間等に応じて信託財産からご負担いただく費用があります。

●投資信託は預金等や保険契約と異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

●銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

【ご注意】

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アイエヌジー投信株式会社が運用するすべての追加型公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最大の料率を記載しております。

投資信託のリスクならびに費用の詳細につきましては、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。